

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
地域作業療法学		必修	2	3	前期	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
浅野 克俊	C313	k.asano	木曜 14:40~16:10			
授業の目的・概要	地域包括ケアシステムの推進と共に、作業療法が対象とする領域は、医療機関に留まらず地域支援にまで広がっている。本科目では、介護保険をはじめとする諸制度や地域作業療法の一連の過程を学ぶ。地域作業療法学の一般的な知識を講義中心で学び、事例を使用し地域作業療法における臨床推論について理解を深める。					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	これまでの地域生活で見聞きしてきたことを活用することで、地域支援の学習が円滑になる。					
教科書	大熊 明/加藤 朋子 編 地域作業療法学 (標準作業療法学 第4版) 医学書院					
参考書	適宜、プリント資料を用いる					
外部教材	Strengthening Community Health Worker Programs (HarvardX) Rajesh Ramesh Panjabi et al,edX					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	地域作業療法の概要が説明できる。			OT (1) OT (2)		
②	地域作業療法に関わる制度、社会生活支援、他職種との連携・協働について説明できる。			OT (2) OT (3)		
③	評価から目標の設定、プログラムに立案、実施、再評価という一連の流れを理解できる。			OT (2) OT (3)		
④	様々な地域支援サービスについて、事例を通して理解できる。			OT (2) OT (3)		
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	「地域」と「地域づくり」の捉え方、地域医療と地域リハビリテーションの背景と変遷を学ぶ	講義・演習	事前に地域の特色について考えてくる。	4		
2	地域作業療法に求められていること、エビデンスと今後の展開について学ぶ	講義	教科書、プリントを読んで復習する。	4		
3	日本における人口動態、社会保障制度、介護保険制度、地域包括ケアシステムについて学ぶ	講義	教科書、プリントを読んで復習する。	4		
4	地域リハビリテーションにおける多職種連携を学ぶ	講義	教科書、プリントを読んで復習する。	4		
5	ケアマネジメントを基に地域における連携、他職種の業務と役割を学ぶ (事例検討) ①	演習	事例検討を進める。	4		
6	ケアマネジメントを基に地域における連携、他職種の業務と役割を学ぶ (事例検討) ②	演習	事例検討を進める。	4		
7	ケアマネジメントを基に地域における連携、他職種の業務と役割を学ぶ (事例検討) ③	演習	事例検討を進める。	4		
8	ケアマネジメントを基に地域における連携、他職種の業務と役割を学ぶ (発表)	発表	発表準備を進める。	4		
9	住環境評価について学ぶ	講義	教科書、プリントを読んで復習する。	4		
10	住環境整備について学ぶ	講義・演習	教科書、プリントを読んで復習する。	4		
11	地域作業療法における評価の視点、目標の設定、支援計画について、個別支援プログラムについて学ぶ	講義	教科書、プリントを読んで復習する。	4		
12	生活行為向上マネジメントとその応用について学ぶ	講義	教科書、プリントを読んで復習する。	4		
13	地域作業療法の事例を検討しまとめる (事例検討) ①	GW、討論	グループごと事例検討を進める。	4		
14	地域作業療法の事例を検討しまとめる (事例検討) ②	GW、討論	グループごと事例検討を進める。	4		
15	地域作業療法の事例を検討しまとめる (事例検討) ③	GW、討論	グループごと事例検討を進める	4		
試	期末試験					

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	30	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	50	10	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。試験は、講義で学んだ教科書・配布プリント・板書ノートの内容に基づく問題、および応用問題を出題し、理解度を問う。				研究室 (C313) 又は Teams を使用し試験結果を個別に開示し、解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	【5～8 回目の講義】 地域在住高齢者の事例を使用する。自宅でいきいきと過ごすことが継続できるようにケアマネジメントの考え方を問い検討し発表する。専門職の連携方法やケアの方針を適切に検討できたかを評価する。				【5～8 回目】 研究室 (C313) 又は Teams を使用し評価点を個別に開示し、解説を行う。
	②	✓					
	③	✓	【13～15 回目の講義】 10 回目までの講義で学んだ知識を活かし地域作業療法で関わる事例を検討する。生活行為向上マネジメント (MTDLP) を使用し適切な評価～治療計画が立てられるかを評価する。				【13～15 回目】 研究室 (C313) 又は Teams を使用し評価点を個別に開示し、解説を行う。
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	担当教員は作業療法士として 10 年以上の臨床業務経験を有する						
実践的授業の内容	地域作業療法の実務経験のある教員と急性期病院で勤務している特別講師にて、地域作業療法の評価・治療、多職種連携、地域医療連携について臨床をもとに教授する。						
そ の 他	授業は面接授業で実施する。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 受講態度に問題がある学生は退室をしてもらうので注意すること。 課題提出は Teams を使って行う。 レポートは生成 AI 等の使用を認めない。						